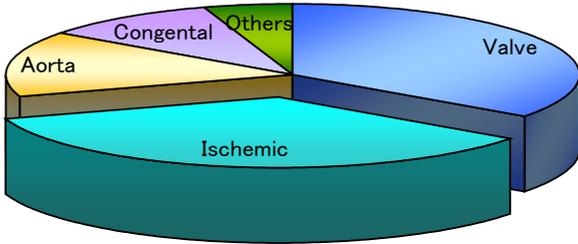
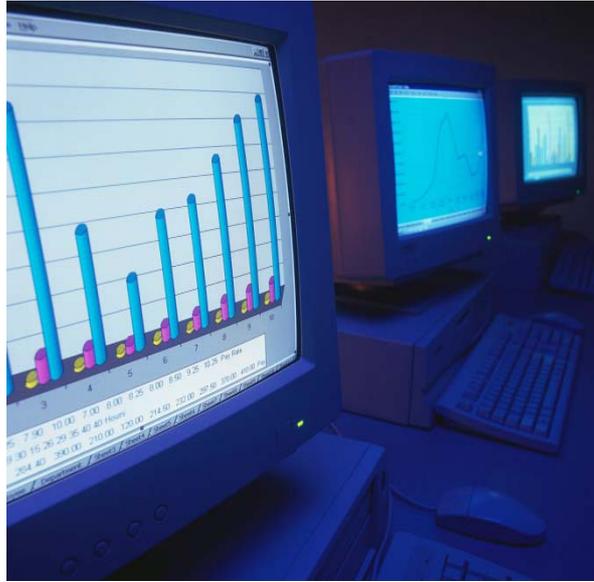


# JACVSD

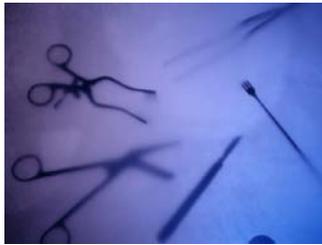
Japan Adult Cardiovascular Surgery Database

日本成人心臓血管外科手術データベース

## 全国規模の心臓血管手術のデータベース



## 全国 347 施設が参加



## 登録データ数 13 万 6 千件



Japan Adult Cardiovascular Surgery Database

Copyright © 2000-2011 JCVSDO. All rights reserved.

February 1, 2011

## JACVSD の名称

日本語名 : 日本成人心臓血管外科手術データベース

英語名 : Japan Adult Cardiovascular Surgery Database



## JACVSD の概要

目的: 現在日本の心臓血管外科手術の結果に関する状況は全国規模では把握されておらず、どのような手術がどれくらいの危険性でなされているのか、また、手術前の状態が良好な方と重症な方で手術の危険性にどの程度違いがあるのか、といった内容に関して全国規模の研究はなされておられません。そこで、心臓血管外科手術を受ける患者さんの手術前の医学的身体状況と行われた手術およびその結果を調査し、これをデータベースとして情報収集し全国的に集計することにより、日本の心臓血管外科学の進歩、ひいては国民全体の福祉健康の増進に寄与することを目的としています。

内容: 米国胸部外科学会データベースとほぼ同等の記入項目をインターネットを介して全国の参加施設から収集し、中央施設にて統計解析を行います。

## JACVSD の歴史

|          |  |
|----------|--|
| 1999年5月  | 米国胸部外科学会のデータベース(STS National Database)の成功を受け、第7回アジア心臓血管外科学会でアジア地域における同様のデータベース作成が討論された |
| 2000年2月  | JACVSD構築に向けて、データベース小委員会が日本心臓血管外科学会、日本胸部外科学会のもとで発足のもとで発足                                |
| 2001年8月  | 5施設でインターネットを介して直接的かつリアルタイムなデータ入力を開始  |
| 2002年1月  | 参加施設を21施設に拡大   |
| 2003年1月  | 参加施設を64施設に拡大   |
| 2005年1月  | 参加施設を112施設に拡大  |
| 2006年7月  | ワーキンググループ発足  |
| 2007年1月  | 参加施設を151施設に拡大  |
| 2007年4月  | 入力システム Ver.3 運用開始  |
| 2007年10月 | データ解析機能(JapanSCORE)設置  |
| 2007年12月 | グラフ化によるデータ解析機能設置   |
| 2008年1月  | 参加施設を177施設に拡大  |
| 2008年1月  | 入力システム Ver.4 運用開始  |
| 2009年1月  | 参加施設を219施設に拡大  |
| 2009年2月  | JapanSCORE 医療関係者に公開  |
| 2009年4月  | 統計データの参加施設利用を開始  |
| 2010年1月  | 参加施設を246施設に拡大  |

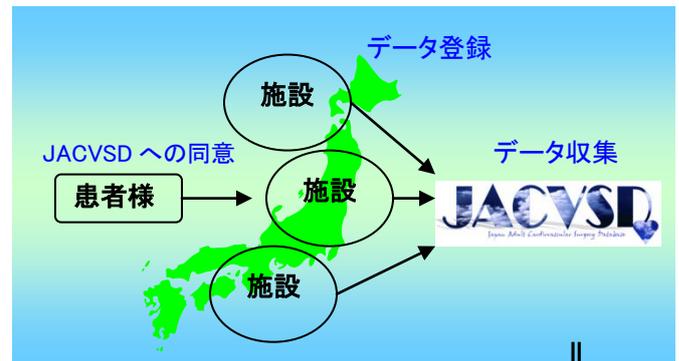
## JACVSD の現在

2011年10月 参加施設 : 347 施設  
データ登録件数 : 約 13 万 6 千件

各施設で下記のような数値を把握したり、全国レベルと自施設成績とを比較することができるようになりました。

また、自施設データの基本的な統計解析も行えます。

|  |             |
|--|-------------|
| 成人心臓血管外科手術の総数                                  | 手術の緊急度      |
| 重症度補正死亡率                                       | 入院期間        |
| 粗死亡率   | 合併症発生率      |
| 患者年齢分布   | 術前危険因子      |
| 手術の種類別数 (冠動脈バイパス、弁置換術、大血管手術、不整脈手術、心臓腫瘍、心臓外傷など) | 術前投薬内容      |
|  | 術前心機能       |
|  | 術後集中治療室滞在日数 |



このプロジェクトが進展し、全国的心臓血管外科手術施設のうち多くが参加すれば日本の心臓血管外科手術成績の全貌とその詳細が明らかとなり、国民の福祉向上につながることでしょう。

また、欧米アジア諸国とも共通するデータベースであるため、海外とも共通の土壌で比較可能となり、日本の心臓外科学の国際化に大きく貢献することと思われます。

# JACVSD のデータ

## ◆登録データ項目

- A. B. C. 基礎情報
  - D. 術前危険因子
  - E. 以前の心臓手術
  - F. 術前心血管症状
  - G. 術前投薬
  - H. 術前心カテ情報
  - J. 手術
  - K. アプローチ
  - L. 冠動脈手術
  - M. 弁手術
  - N. 胸部大血管手術
  - O. 他の心臓手術
  - P. 他の非心臓手術
  - Q. 人工心肺／補助手段
  - R. 術後
  - S. 合併症
  - T. 結果／成績
  - U. 再入院
  - V. 退院時投薬
  - HTx. 心臓移植
  - VAD. 補助人工心臓
- \* 自施設の入力情報は閲覧可能

## ◆入力フォーム



## ◆個人情報保護に関して

JACVSD では、個人の健康状態に関する情報を取り扱うため、秘密保守には厳重な配慮をおいています。また、コンピューター処理を行う際にも高品質の暗号形式を使用しています。もちろん、個人を特定できる形での情報公開は一切行いません。

## ◆Q&A よくあるご質問

**Q:** JACVSD では何歳以上の症例を入力対象としているか？

**A:** JACVSD では congenital の症例も取り扱いますが、手術時年齢が 16 歳以上の症例を入力対象とします。

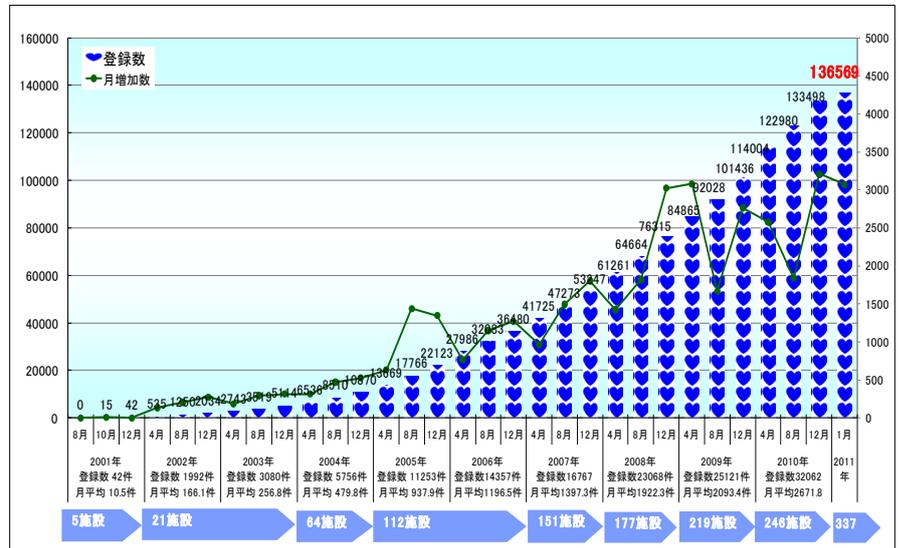
**Q:** 腹部大動脈瘤のみの手術例の場合、登録対象とならない？

**A:** 対象となりません。横隔膜以上の疾患郡を対象としています。胸腹部大動脈瘤は対象となります。

**Q:** 登録時期は、いつ頃がよい？

**A:** 理想的には、術前情報は手術前に、手術情報は手術終了直後に、術後の合併症などは退院時に入力して頂くのが最も正確なデータとなります。

## ◆登録症例数累計（未完了データ含む）



## JACVSD 参加基準（2011年2月現在）

- ◆年間の全手術症例をもれなく入力できる(同意書の取得必須)
  - ◆最低5年以上継続して参加できる
  - ◆施設倫理委員会の承諾を得る(見込み可)
  - ◆年2回のデータマネージャー会議・その他関連セミナーへ出席できる(最低一名は出席必須)
  - ◆データ入力用コンピューターの確保(インターネット接続必須)
  - ◆データマネージャー(データ入力者)の確保(医師以外も可だが、医師の管理必須)
- ※新規施設(1月1日付け参加)の募集は前年の夏頃に行われています。





## JACVSD 事務局

◆事務局へのお問合せは下記までお願い致します。

〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目26番9号 鈴木ビル6階

日本心臓血管外科学会事務局内 日本心臓血管外科手術データベース機構 JACVSD 事務局

E-Mail: [jacvsd-adm@umin.ac.jp](mailto:jacvsd-adm@umin.ac.jp)

URL: <http://www.jacvsd.umin.jp/>

高本真一（三井記念病院） 本村昇（東京大学） 連絡担当:川原ユカリ（東京大学）

JACVSD についての更に詳しい情報はホームページをご覧ください